

主催：数電機連携プログラム推進室、理工学研究科研究推進室

理工双方の発想を兼ね備え、国内外に向けた
幅広い視野を持つ人材の育成をめざして

理工特別セミナー

開催日：2010年8月4日（水曜日）

開催時間：16:30-17:30

（17:30-18:30 懇談会・討論会）

開催場所：首都大学東京12号館106教室

（懇談会は8号館1階イニシアティブ
交流スペースにて行います）

講師：Dr. Machi DILWORTH

（NSF(米国国立科学財団)，東京事務所所長）

講演題目：「海外における自己アピール術と理系キャリア形成」



講演概要

一般的に、日本人はアピール力が弱いと言われています。研究内容が一番大切なのは言うまでもありませんが、その研究成果を広く知ってもらい、研究者として国際社会の中で認められることも大切です。たとえば、国際学会でも、海外（今回は特に米）の大学院に出願するための小論文（Statement of Objectives）などでも自分そして自分の研究の成果をアピールしなくてはなりません。今回は、そのアピール方法を、NSF (National Science Foundation) での20年以上に渡るご経験から、審査する側の視点でお話いただきます。

*NSF（米国国立科学財団）は、科学工学分野での基礎研究・教育を促進する米国政府機関です。NSFの様々なポートフォリオの中で国際活動が支援されており、国際科学工学部がパリ、東京、北京のNSF海外事務所で国際協力の先導を担っています。NSF東京事務所は、在日米国大使館内にあり、日本だけでなく必要に応じて他の東アジア太平洋地域の国々におけるNSFの活動を円滑に進めています。

主催：数電機連携プログラム推進室、理工学研究科研究推進室

（首都大学東京・理工学研究科）

192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

コーディネータ：鳥山温美（博士後期課程 機械工学専攻）

問い合わせ先：数電機連携プログラム推進室

Tel:042 (677) 2466 内線(3158) （担当：酒井） E-mail: sakai-t@tmu.ac.jp